

令和6年度普及指導活動方針

農業・農村を巡る情勢が大きく変化する中、令和6年度の本県普及事業は、農業普及指導活動の指針である「協同農業普及事業の実施に関する方針」（令和3年3月策定 令和4年10月一部改正）に基づいた活動を展開していく。

東日本大震災以降、普及組織と関係機関が力を合わせて、復旧・復興に全力で取り組んできた結果、沿岸部を中心に100haを超える大規模土地利用型法人や高度な環境制御技術を導入した先進的施設園芸経営体の誕生などに結び付いてきた。

一方で、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化などの恒常的な課題のほか、新型コロナウイルス感染症、資材や燃料価格の高騰や頻発化する自然災害など様々な課題を抱えている。

このような課題を解決すべく、県では国が進めている「みどりの食料システム戦略」の取組や「デジタルトランスフォーメーションの推進」により、アグリテックの導入による生産性の向上を支援していく必要がある。また、地域農業を担う経営体の育成については、「人・農地プラン」の法定化に伴い令和7年3月末までに市町村が取組む「地域農業経営基盤強化促進計画（以下「地域計画」という）」の策定が、円滑に進むよう支援する必要がある。

このため、令和6年度の普及指導活動の展開に当たり、このような課題への的確な対応と、「みやぎの園芸特産振興戦略プラン」及び「宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画」の実現に向けた取組を推進しつつ、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」に掲げる「豊かな食」・「儲ける農業」・「活力ある農村」の3つの将来像の実現に向け、以下の項目について重点的に取組むものとする。

1 プロジェクト課題の設定

プロジェクト課題は以下5つの関連課題を設定する。

市町村と協議の上、農地の効率的かつ総合的な利用を図るため、「地域計画」の策定について支援する（「**地域計画**」関連課題）。また、園芸産出額増大と地域の特色ある園芸品目生産拡大に向けた産地育成の取組支援（「**園芸振興**」関連課題）や、先端技術等の普及拡大と生産性の高い農業の実現の取組支援（「**アグリテック**」関連課題）、環境に配慮した持続可能な農業・農村の構築支援と食と農への理解促進（「**みどりの食料システム戦略**」関連課題）や資材価格高騰を背景とした堆肥等の有効活用を推進する耕畜連携（「**耕畜連携**」関連課題）をプロジェクト課題として、地域や対象の取組状況に合わせて課題化する。

なお、「園芸振興」関連課題は全普及センターで課題化を図るほか、一つのプロジェクト課題において、必ず1つは関連課題を設定し、複数の関連課題に取り組むことも可能とする。

2 活動方針

(1) プロジェクト課題

イ 農用地の効率的かつ総合的な利用に向けた「地域計画」策定・実行支援（「地域計画」関連課題）

地域における農業の将来のあり方について協議し、市町村が策定する「地域計画」について、「地域計画策定推進緊急対策事業」に令和5年度に取組んだモデル地区や令和6年度に策定する地区で、円滑に進むよう取組を支援する。あわせて、計画実現に向けた担い手等の実行支援を行う。

ロ 園芸産出額増大と地域の特色ある園芸品目生産拡大に向けた産地育成の取組支援（「園芸振興」関連課題）

「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」に基づき園芸産出額の増大を図るため、高度な環境制御技術を導入した施設園芸や大区画ほ場等を活用した露地園芸に取組む経営体の栽培技術定着と効率的な作業体系の確立を支援する。また、地域において従来から取組まれている多様なニーズに対応した特色ある園芸品目の生産拡大や生産体制の強化に向けた取組を支援する。

ハ 先端技術等の普及拡大と生産性の高い農業の実現に向けた取組支援（「アグリテック」関連課題）

アグリテックの導入により、施設園芸では高度な環境制御技術等による生産性の向上を、畜産では搾乳ロボットやICTを活用した繁殖管理の導入等による作業の効率化を、土地利用型作物等では令和4年度に整備したRTK基地局を有効活用し、作業精度の向上を図るなど、さらなる作業の効率化や省力化を推進する。

ニ 環境に配慮した持続可能な農業・農村の構築支援と食と農への理解促進（「みどりの食料システム戦略」関連課題）

「宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画」に基づき持続的な食料システムの構築を目指し、環境負荷低減に資する持続可能な農業生産（総合的病害虫・雑草管理（IPM）、生物多様性の保全、有機農業など）の取組を支援するとともに、食と農に関する農業者と消費者の相互理解を促進し、地域食材を活用した取組を支援する。

ホ 資材価格高騰を背景とした耕畜連携推進による堆肥等の有効活用支援（「耕畜連携」関連課題）

世界情勢の変化により資材価格が高騰し、農業経営に深刻な影響を及ぼしている。堆肥センター等を中心に、堆肥の活用や指定混合肥料の検討等による耕種農家の肥料コスト低減を支援する。

(2) 重点活動

重点活動は、以下6つの取組を設定する。この中で「新たな担い手・女性活躍」は、全普及センターで課題化を図る。また、「地域計画」はプロジェクト課題に設定しなかった場合は必ず課題化し、「みどりの食料システム戦略」はできる限り課題化する。さらに、地域や対象の取組状況に合わせて、「農業経営管理」、「園芸振興」、「地域実情」のいずれか1課題以上に取組む。

イ 新たな担い手の確保・育成及び女性活躍に関する取組（以下「新たな担い手・女性活躍」）

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」に掲げる新たに農業経営を営もうとする青年等の確保・育成及び女性の活躍に関する取組を支援する。活動にあたっては、宮城県農業経営・就農支援センターのサテライト窓口として、就農の相談に対応する。

ロ 「地域計画」に関する取組（以下「地域計画」）

市町村が取組む「地域計画」の策定に向け、工程表に沿った地域での話し合いや合意形成に向けた取組を支援する。

ハ 農業経営の安定化や経営継承等に関する取組（以下「農業経営管理」）

認定農業者や農業法人、集落営農組織等地域の担い手となる経営体の経営高度化や経営継承等に向けた取組を支援する。生産工程管理（GAP）に取組む経営体の育成・定着、また、大規模自然災害や新型コロナウイルス、資材高騰等により経営に影響の出ている生産者の経営安定化に向けた取組を支援する。活動にあたっては、宮城県農業経営・就農支援センターのサテライト窓口として、農業経営の相談に対応するとともに、重点支援対象者への支援チームによる支援を行う。

ニ 新たな園芸産地育成に関する取組（以下「園芸振興」）

今後、地域において生産拡大が想定される品目若しくは新たに生産に取組もうとしている園芸品目に対する生産技術支援等、将来の園芸振興のプロジェクト課題となり得る取組を支援する。

ホ みどりの食料システム戦略に関する取組（以下「みどりの食料システム戦略」）

「宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画」に基づき、農業者の家畜排せつ物等の本県産の未利用資源の活用拡大や、持続的生産体制の構築に向けた省力化・安定化・環境負荷低減推進の取組を支援する。

ヘ 地域の実情に合わせた重点的に活動すべき取組（以下「地域実情」）

大規模自然災害等からの復旧・復興や、アグリテックの推進など地域の実情に合わせて、各普及センターで重点かつ緊急的に取組むべき課題があれば、各普及センターで独自に設定するものとする。

(参考)

	令和6年度	令和5年度
プロジェクト課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域計画」関連課題 ◎「園芸振興」関連課題 ○「アグリテック」関連課題 ○「みどりの食料システム戦略」関連課題 ○「耕畜連携」関連課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域計画」関連課題 ◎「園芸振興」関連課題 ○「アグリテック」関連課題 ○「みどりの食料システム戦略」関連課題 ○「耕畜連携」関連課題
重点活動	<ul style="list-style-type: none"> ◎「新たな担い手・女性活躍」に関する取組 ◎「地域計画」に関する取組※ ○「農業経営管理」に関する取組 ○「園芸振興」に関する取組 ○「みどりの食料システム戦略」に関する取組 ○「地域実情」に合わせた重点的活動取組 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「新たな担い手・女性活躍」に関する取組 ◎「地域計画」に関する取組※ ○「農業経営管理」に関する取組 ○「園芸振興」に関する取組 ○「耕畜連携」に関する取組 ○「地域実情」に合わせた重点的活動取組

凡例：◎は全普及センターで取組課題を示す。○は、各普及センター実情に応じて課題化できるもの。

※「地域計画」については、プロジェクト課題で設定されない場合に、重点活動で設定。